

授業科目	神経系医学（神経系の構造、機能、病態）				
担当者	宮井 和政				
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

神経系は、感覚の受容、情報の処理、効果器への指令を行う器官系であり、環境の変化に応じた反応を引き起こすために欠かせない情報伝達を担う。神経系は機能が部位ごとに異なり（機能局在）、その部位ごとが決まった経路で連絡している（伝導路）ので、神経系の働きと病態を理解するためには、主な機能局在と伝導路を把握する必要がある。この授業では、機能局在と伝導路に主眼を置いて、中枢神経系と末梢神経系の基本的な構造と機能について病態とも関連させて学習する。

■ 到達目標

- ・ 神経細胞の形態と情報伝達のしくみを理解できる。
- ・ 脳と脊髄の構造と機能、および主要な伝導路を理解できる。
- ・ 脳神経、脊髄神経、自律神経系の構造と機能を理解できる。
- ・ 中枢および末梢神経系の病態と検査の概要を理解できる。

■ 授業計画

- 第1回 神経組織・神経伝導のしくみ
- 第2回 神経系の分類と概要
- 第3回 中枢神経系の構造と機能（脊髄）
- 第4回 中枢神経系の構造と機能（脳幹・間脳）
- 第5回 中枢神経系の構造と機能（大脳基底核・小脳）
- 第6回 中枢神経系の構造と機能（大脳辺縁系）
- 第7回 中枢神経系の構造と機能（大脳皮質）
- 第8回 中枢神経系の構造と機能（伝導路）
- 第9回 中枢神経系の構造と機能（脳血管系・脳脊髄液）
- 第10回 末梢神経系の構造と機能（脊髄神経）
- 第11回 末梢神経系の構造と機能（脳神経）
- 第12回 末梢神経系の構造と機能（自律神経）
- 第13回 中枢神経系の病態
- 第14回 末梢神経系の病態
- 第15回 神経検査・画像検査

■ 評価方法

筆記試験 100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

各授業の前に授業項目に該当する教科書の単元を予め通読（予習）しておくこと。また、授業後は各回に配布する小テストに解答できるように復習しておくこと。

■ 教科書

書名：絵でみる脳と神経 しくみと障害のメカニズム（第4版）

著者名：馬場元毅

出版社：医学書院

■ 参考図書

書名：ブルーメンフェルト カラー神経解剖学 - 臨床例と画像鑑別診断 -

著者名：ハル・ブルーメンフェルト（安原治 訳）

出版社：西村書店

■ 留意事項

■ 講義受講にあたって